



豊海小だより

中央区立豊海小学校 (3534) 1251
10月号 平成26年10月1日

教育目標

- よく考える子ども
- 思いやりのある子ども
- 心も体もじょうぶな子ども

オリンピック教育推進校として

副校長 小川 優

本校は今年度、東京都教育委員会より、オリンピック教育推進校の指定を受けています。約6年後の2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向かい、選手村が設置される晴海地区にも近い豊海小の子どもたちは、今何を学んだらよいのでしょうか？。

私は2つの方向が考えられるのではないかと思います。1つは、スポーツ自体に親しむこと。運動を好きになり、技能や体力を高め、生涯スポーツの基礎を培うことです。アスリートの方の話を直接聞き、スポーツ交流し、夢や目標に向かって努力する素晴らしさを知ること大切だと思います。もう一つは、国際理解教育を進めること。外国の文化を知り、コミュニケーションできる語学力（まずは英語から）をつける。日本の歴史や文化を知った上で、多様性を受け入れ、「おもてなしの心」で多くの外国の人々をお迎えできれば素晴らしいことだと考えています。

先日9月25日に、筑波大学講師でマナー研修・接遇講座を指導されている江上いずみ先生をお招きし、「オリンピック教育推進校としてのおもてなしの心」の講演会を開きました。

1～3年生の低学年と、4～6年生の高学年で1時間ずつ話を聞きました。保護者の方も20名ほど参加してくださいました。江上先生は「おもてなし」について、おもてなし→表なし→つまり、裏表がない。表面的ではなく、心の底から相手を大切に思うこと。大切な人をお迎えする時の気持ち。相手に喜んでもらいたいという気持ち。と言われました。低学年の子どもたちは、身近な映像を見て楽しみながら聞いていました。高学年は、メモを取り真剣に話に集中していました。講演では挨拶や握手、ノックの仕方などを実演を交えて学習する場面もありました。「おもてなしや思いやりの心は、必ず自分に返ってくる。」「オリンピックに向けて、日常生活でマナーやおもてなしの心を生かしていきたい。」と講演の感想に書いた子どもも多くいました。「6年後、おもてなしの態度で多くの人々を迎えたい」と子どもたちが講演を受け止めてくれたことを大変うれしく思いました。

オリンピック教育推進は、学校の日常の様々な学習活動の場面でも行われますが、次の大きな取組としては、11月に予定されているバレーボールの大山加奈さん（アテネオリンピック5位）の講演会とスポーツ交流活動です。子どもにも大人にも、心に響くいいお話が聞けるとと思います。公開制にいたしますので、ぜひご来校ください。

また、10月4日（土）は学校公開・道徳授業地区公開講座があります。4時間目には、からだところの発見塾理事の鈴木誠二氏による5・6年生を対象にした「命と心の授業」が行われます。題は「いのちの大切さに気付き、その使い方を決める」です。「生きる」とはどういう事かを問いかけ、自分なりに生きる意味を考える授業です。公開制となっておりますので、保護者・地域の皆様もぜひご参観ください。よろしくお願いたします。

新校舎の改築工事が本格的に始まっていきます。10月からは工事の自動車の出入りも多くなりなります。工事関係者の方々には「安全」を最優先に仕事をしていただいています。学校でも児童に安全指導しますが、ご家庭でも近くを通るときは車に十分注意するよう声をかけていただけるとありがたいと思います。なお、工事の進捗状況の概要については、学校ホームページで、月に一回程度で情報をお知らせしていく予定です。

